

2021年7月20日

業界最高解像度の熱中症データでヘルスケア DX を推進 1km メッシュの高解像度「熱中症情報 API」を提供開始 屋外作業員の健康管理から食品・飲料メーカーのマーケティングまで支援

株式会社ウェザーニューズ（本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開 千仁）は、高精度の気象データと最新技術の活用によって企業の DX を推進し、ビジネス課題を解決する WxTech®（ウェザーテック）サービスにおいて、業界最高解像度の 1km メッシュの「熱中症情報 API」の提供を開始しました。

今夏は平年より厳しい暑さとなり、7月下旬～8月初めと8月下旬が暑さのピークとなる予想です。特に梅雨明け直後は、体がまだ暑さに慣れていないのに気温が急上昇するため、熱中症に注意が必要です。そこで、当社は 1km メッシュの暑さ指数 (WBGT) をもとに独自に算出した 4 段階の熱中症危険度情報を API で提供します。企業のシステムと連携することで、屋外作業員の健康管理から食品・飲料メーカーのマーケティングまで幅広くご活用いただけます。例えば、熱中症リスクの高いエリア・時間帯の屋外作業員や観客に向けて、休憩や水分補給、扇風機の活用を呼びかけるなど予防策にご活用いただけます。また、企業は熱中症情報と熱中症搬送者数のデータを組み合わせることで、AI を用いた搬送者数予測などのシステム開発に利用することもできます。さらに、食品・飲料メーカーや小売事業者の場合は、アプリユーザーに対してスポーツドリンクなど関連商品の購入でスタンプ 2 倍などの熱中症対策キャンペーンを実施できます。

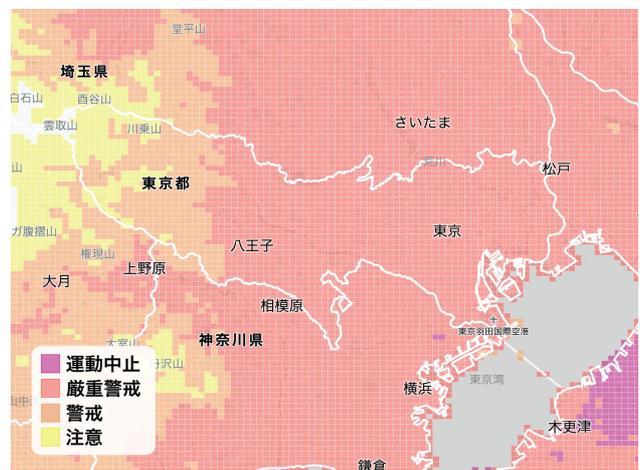
当社は、高解像度の気象データの提供を通して、ヘルスケア領域における DX 推進で夏の健康管理を支援するとともに、訴求力や顧客満足度向上につながるマーケティングの高度化をサポートしていきます。

「WxTech®」のデータラインナップはこちらから	サービスに関するお問い合わせはこちらから
https://wxtech.weathernews.com/services.html	https://wxtech.weathernews.com/contact.html

◆1km メッシュの高解像度「熱中症情報 API」

「熱中症情報 API」は、1km メッシュの暑さ指数 (WBGT) をもとに独自に算出した高解像度の熱中症危険度情報です。72 時間先までの 1 時間ごとの熱中症リスクを“注意”“警戒”“嚴重警戒”“運動中止”の 4 段階で提供します。最高レベルの高解像度の 1km メッシュで熱中症情報のデータを取得できる点が特長です。

一般的な熱中症情報は、一年中全国一律の基準で WBGT の値からランク分けしており、時期やエリアによる熱中症の発生傾向の違いは考慮されていません。しかし、同じ気温でも体が暑さに慣れてきた夏とそうではない梅雨や、東北と関東など住んでいるエリアの違いによって、熱中症のなりやすさが異なります。特に梅雨明け直後は、体が暑さに慣れていないため熱中症



東京都周辺の熱中症情報
7月12日11時の予報（9時時点）

になる人が多いと言われています。そこで、本サービスでは、過去の熱中症搬送者数と WBGT との関係を分析した結果から、時期やエリアを考慮した新しい熱中症危険度を提供します。

本サービスは、クラウドを経由して API などデータを提供するため、企業システムとの連携が容易です。企業は数地点から全国約 38 万地点まで、必要な地点の緯度経度を設定しておくことで、任意のタイミングでデータを自動取得することができます。取得データは、熱中症への注意喚起や関連商品の販売促進など、アイデア次第で様々な用途にご活用いただけます。

例えば、保守作業や工事の現場やイベント会場では、熱中症レベルが“**嚴重警戒**”レベルになる前に、作業員やスタッフ・観客に休憩や水分補給を推奨し、扇風機を多めに稼働させるなど、暑さから身を守るアクションにつなげることができます。また、企業システムと連携することで、“**注意**”レベル以上が予測される時間帯にミスト装置やエアコンなどの冷房器具を自動で稼働させることもできます。さらに、企業は熱中症搬送者のデータベースと組み合わせることで、AI を用いた搬送者数の予測システムなど新たなシステムの開発にもご活用いただけます。

この他、食品・飲料メーカーや、コンビニ・スーパーなどの小売事業者の場合は、企業のアプリを通して、“**警戒**”レベル以上に該当する方へピンポイントに、スポーツドリンクのような熱中症対策ドリンクやグッズの購入でスタンプ 2 倍や割引のクーポンを配信することも可能です。

◆熱中症情報と連動した広告出稿が可能に

累計 2,600 万ダウンロードの天気アプリ「ウェザーニュース」で 1km メッシュの熱中症情報と連動した広告「天気連動広告」を配信することも可能です。「天気連動広告」は、業界一の高解像度気象データとアプリのユーザーの位置情報とアプリの利用情報を分析したユーザーインサイトをもとに、現在地の気象状況に応じた広告を「ウェザーニュース」内で自動配信できるサービスです（※2）。熱中症のリスクが高いエリアに配信先を限定し、リスクが高まる時間帯に広告出稿することが可能です。ユーザーがいる場所のピンポイントな熱中症情報に合わせた、精度の高い出し分けで、広告効果の向上が期待できます。

※2: 天気連動広告に関するプレスリリース <https://jp.weathernews.com/news/36802/>

気象データの活用を検討されている企業の方は、下記 URL よりお気軽にお問い合わせください。

▼「熱中症情報 API」に関するお問い合わせはこちらから

<https://wxtch.weathernews.com/contact.html>

◆「熱中症情報 API」のサービス仕様

データ種別	熱中症情報
ランク	注意 警戒 嚴重警戒 運動中止
空間解像度	1km メッシュ
提供期間	7 月～9 月
時間解像度	1 時間ごと、72 時間
更新頻度	5 回/日

◇ WxTech®サービスについて

WxTech®（ウェザーテック）サービスは、ビジネス課題や社会課題解決を目指した企業や自治体の DX 推進を気象データの切り口から支援するサービスです。ビジネス分析・予測に活用可能な高解像度/高精度な気象データ API を備え、サービスサイトではお手持ちのデータと気象データとの相関分析を無料でお試しいただけます。（<https://wxtech.weathernews.com/>）

ウェザーニューズ独自の高精度/高解像度な気象データと、2,500 社に及ぶお客様へのサービス導入のノウハウを活かし、業務の効率化や最適化、ビジネスリスク/ロスの低減など、持続可能なビジネスの実現だけでなく、売り上げの最大化や新たなビジネスチャンスの創出、マーケティング戦略の支援など、攻めのビジネスの実現をサポートします。

当社は気象データと最新テクノロジーを組み合わせ、ビジネス課題を解決する WxTech®のサービス開発を進めることで、Society 5.0 時代における企業の DX を推進していきます。